

完了後の評価個表

整理番号	6 - 1
------	-------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	岡山県
ふりがな 地域(地区)名	にいみ 新見市	事業実施主体	新見市、新見市森林組合等
関係市町村	新見市(旧新見市等)	管理主体	新見市、新見市森林組合等
事業実施期間	H15～H17(3年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 新見市は、岡山県の北西部に位置し、北は中国山地を介して鳥取県に、南は高梁市に、東は真庭市に、西は広島県庄原市に接する吉備高原上に位置している。また、この地域を源とする高梁川は、下流の都市住民にとって重要な水源地となっている。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は68,484ha(森林率86%)、このうち民有林が59,295ha(87%)、人工林が32,061ha(人工林率54%)となっており、県内でも有数の林業地となっているが、間伐等の森林整備が必要な45年生以下の森林が20,858haで人工林の65%を占めている。</p> <p>また、保安林として水源かん養保安林が16,266ha、土砂流出防備保安林が753ha指定され、全体の約59%が水土保持林に区分されている。このため、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに約32,061haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。材価低迷等により森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する住民の期待が高まっているところである。</p> <p>また、当地区には森林整備を効率的に実施するための根幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林施業の遅れが目立っていた。</p> <p>このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、森林整備を実施するとともに、森林への到達時間の短縮、労働力や資機材の効率的な移送・運搬等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図ることを以て森林整備を促進することを目的に林道を整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽79ha、下刈690ha、除・間伐3,380ha、その他629ha 作業路4,943m</p> <p>森林管理道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>川東線 <small>かわひがし</small></td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 575m</td> <td>利用区域面積 149ha</td> </tr> <tr> <td>安藤宗貞線 <small>あんどうむねさだ</small></td> <td>車道幅員 2.0m</td> <td>開設延長 721m</td> <td>利用区域面積 312ha</td> </tr> <tr> <td>ナメラ尾谷線 <small>あたに</small></td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 1,260m</td> <td>利用区域面積 207ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,371,247千円 (当初総事業費 2,469,000千円)</p>	川東線 <small>かわひがし</small>	車道幅員 3.0m	開設延長 575m	利用区域面積 149ha	安藤宗貞線 <small>あんどうむねさだ</small>	車道幅員 2.0m	開設延長 721m	利用区域面積 312ha	ナメラ尾谷線 <small>あたに</small>	車道幅員 3.0m	開設延長 1,260m	利用区域面積 207ha
川東線 <small>かわひがし</small>	車道幅員 3.0m	開設延長 575m	利用区域面積 149ha										
安藤宗貞線 <small>あんどうむねさだ</small>	車道幅員 2.0m	開設延長 721m	利用区域面積 312ha										
ナメラ尾谷線 <small>あたに</small>	車道幅員 3.0m	開設延長 1,260m	利用区域面積 207ha										

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、平成16年の台風23号による風倒木被害の発生に伴う計画期間中の森林整備事業量の減等により総事業費が減となったが、長伐期施業への転換による伐期の延長により評価期間が増となったことから、総便益等は事業採択時と同程度となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B) 31,477,786千円</td> <td>(事業採択時 35,346,845千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C) 5,948,555千円</td> <td>(事業採択時 5,810,256千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C) 5.29</td> <td>(事業採択時 6.08)</td> </tr> </table>	総便益(B) 31,477,786千円	(事業採択時 35,346,845千円)	総費用(C) 5,948,555千円	(事業採択時 5,810,256千円)	分析結果(B/C) 5.29	(事業採択時 6.08)
総便益(B) 31,477,786千円	(事業採択時 35,346,845千円)						
総費用(C) 5,948,555千円	(事業採択時 5,810,256千円)						
分析結果(B/C) 5.29	(事業採択時 6.08)						

事業効果の発現状況	<p>手入れが遅れていた森林4,778haの間伐等が実施され、森林の公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>また、林道整備により施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、搬出間伐はH18時点で約235haであったものがH22には約268haと増加(1.14倍)した。</p>
-----------	--

<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備された森林は、森林所有者及び森林組合により、間伐等の適切な森林整備が実施されるなど、維持管理は良好である。</p> <p>また、搬出間伐においては、最適な林業機械を組み合わせた作業システムを採用することにより効率的な施業を実施し、低コスト化を図っている。</p> <p>整備された林道は、新見市が定めた林道維持管理規程に基づき管理されており、草刈や側溝掃除、路面の整備等が定期的に行われ、維持管理状況は良好である。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>健全な状態に森林が整備され、森林環境や景観の維持向上が図られた。</p> <p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等による林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減、林業生産性の向上が図られ、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。</p> <p>林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>路網整備により高性能林業機械が導入され、効率化かつ労働強度の軽減化が図られるとともに、森林組合において林業労働者が新規採用されるなど、雇用拡大が図られた。</p> <p>また、コストの低減等に伴い、森林施業の実施面積が開設前と比べ大幅に増加していることから、将来の木材供給林としての期待が高まっている。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する地元住民の意欲が増進されたものの、育成途上の森林が多くを占めていることから森林整備はまだ十分とは言えない状況である。今後、さらなる路網整備や施業集約化、高性能林業機械の導入等を推進し、効率化及び低コスト化を一層推進していく必要がある。</p> <p>また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見： 路網整備により効果的な森林整備を実施できた。下流の都市住民のための水源 かん養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。 森林所有者の森林整備への取組や意欲の向上は改善されつつあるが、木材価格の低迷等により未だ十分とは言えず、必要な間伐が行われていない林分もあることから更なる啓蒙活動が必要。（岡山県） 当事業による林道整備により、木材生産や森林整備が促進され、地域の森林資源の有効活用に大きく寄与した。今後も必要な森林整備等が適切に実施されるよう努める必要がある。（新見市）
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 重点的な間伐等の森林整備の実施による水源かん養や山地保全等の公益的機能の高度発揮や、森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、林道整備にあたっては地形に沿った線形による切・盛土量の抑制等コスト縮減が図られ、総事業費の縮減に結びついていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 必要とされていた間伐等の森林整備が行われ、水源かん養や山地保全等の公益的機能の維持増進が図られたこと、また、林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、木材生産・森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

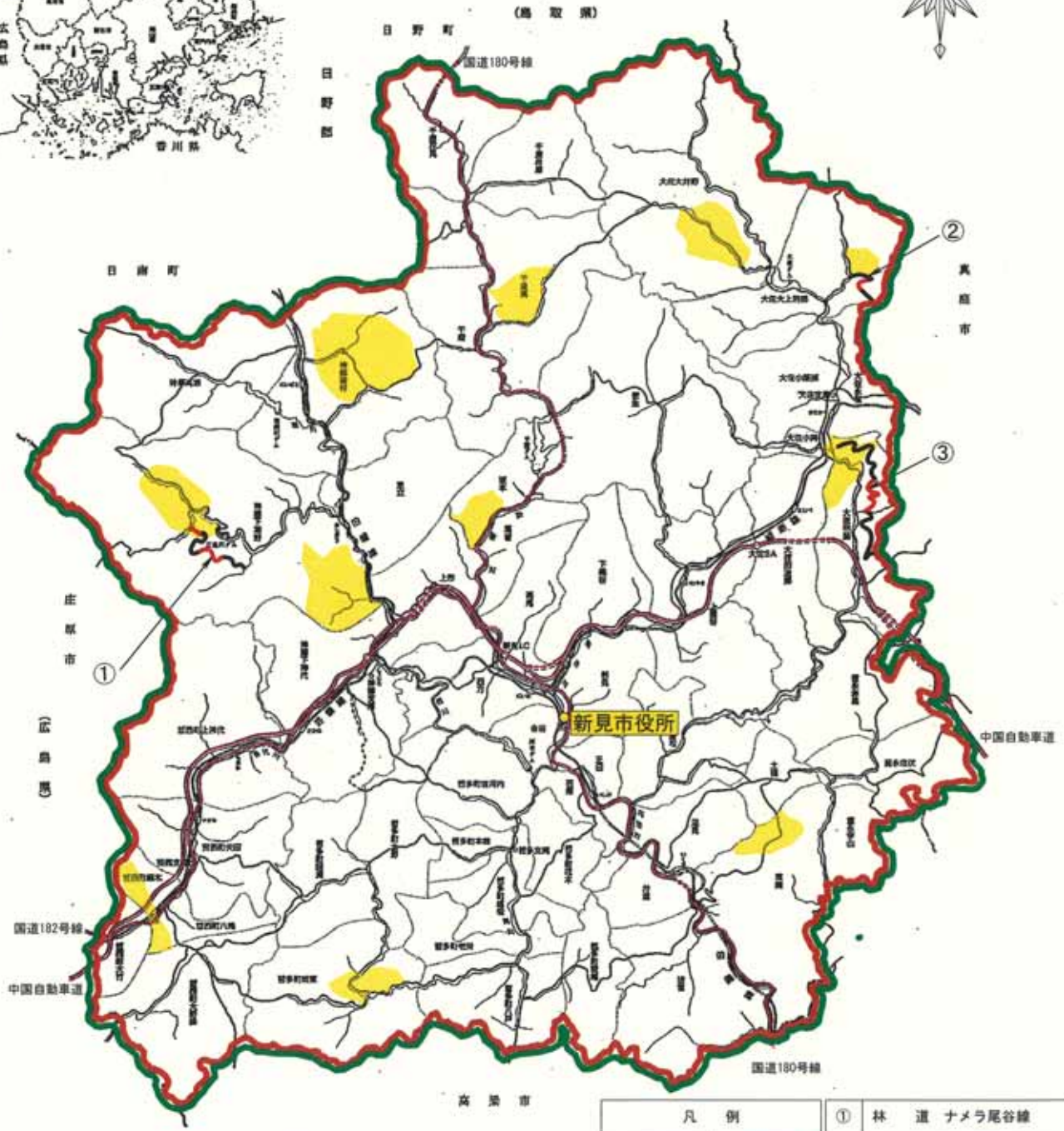
都道府県名: 岡山県

地域(地区)名: 新見市^{にいみし}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,222,410	
	流域貯水便益	3,528,907	
	水質浄化便益	5,305,302	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,162,944	
	土砂崩壊防止便益	10,764	
環境保全便益	炭素固定便益	3,536,979	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	13,836	
	木材利用増進便益	356	
	木材生産確保・増進便益	2,332,349	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	94,267	
	森林管理等経費縮減便益	5,689	
	森林整備促進便益	263,983	
総 便 益 (B)		31,477,786	
総 費 用 (C)		5,948,555	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,477,786}{5,948,555} = 5.29$		

森林環境保全整備事業 新見市地区(岡山県) 概要図



凡例	
市町村境	① 林道 ナメラ尾谷線
区域	② 林道 川東線
施工箇所番号	③ 林道 安藤宗貞線
施工箇所	④ 森林整備